

1. 長期成長ビジョン

コスト・環境・品質を追求し、半導体材料再生の業界トップクラスメーカーとして、半導体産業の成長と脱炭素化に貢献する企業を目指す

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

「低コストでエコな半導体材料再生」の**トップメーカー**

- 新品同等の高品質な半導体材料再生サービス(シリコン・SiC)を国内外に**低コストで提供**することで、半導体産業の成長に貢献し、**AIやDXを根底から支える**
- 半導体材料を**繰り返し再生**することを通じて**半導体産業のCO2削減を牽引**する
- **半導体材料再生の業界トップメーカー**として、より魅力ある職場を目指し、**賃上げを積極的に行う**ことで、業界全体の地位向上を牽引する

会社全体の売上成長目標（～2030年度）

直近2024年7月期の会社全体の売上高119億円

- 売上高成長率124%
- 売上高増加額147億円

2031年7月期の全社全体の売上高目標266億円

会社全体の賃上げ目標

- 3.07%（直近事業年度～基準年度）
- 7.00%（基準年度～事業化報告3年目）

外発的動機

- 1988年に半導体産業の日本シェアは50.3%だったが、**2019年には10%まで低下**
- 日本政府は半導体を特定重要物資と位置付けている
- 2050年カーボンニュートラル宣言において、半導体産業は成長が期待される14分野に選出されており、**国策として強い取り組み姿勢**がある
- 半導体製造量増加に伴うCO2排出増加が業界問題となっているが、シリコンウェハー再生、SiC加工・再生事業は、**省CO2、省資源、省コストによる貢献で半導体産業の成長を支えることが出来る**

内発的動機

- 「時代を画すテクノロジーで半導体産業を支え、信頼される存在になる」ことが経営理念であり、**コスト・環境・品質に配慮した半導体材料加工サービスを安定的に提供**することが使命
- 300mmシリコンウェハー再生事業において**国内市場シェア1位で30年以上の研究・開発実績がある**当社が、設備投資を通じて業界を牽引していくという自負がある
- 熊本地震による工場休止を経験し、半導体サプライチェーンでの当社の役割の重要性を強く認識

2. 補助事業の概要

本件投資により現在の稼働逼迫状況を解消し、取引先の要請に応じた増産が可能になり、売上・利益の増加を見込む。最先端の省力化自動設備導入により、人員は抑えられ、大幅な労働生産性向上が可能となる

補助事業の 背景・目的

- ・ 現状設備では取引先の増産需要に対応しきれないことに課題感
- ・ 更なる市場成長を見込み、生産能力拡張によりマーケットシェア拡大を狙う

事業費 (補助額)

**106億円
(35億円)**

設備投資の 内容

- ・ シリコンウェハー再生事業とSiC加工・再生事業の**最新鋭の設備を揃えた一貫生産ライン**を新設する
- ・ 現状、シリコンウェハー再生事業の稼働が逼迫状態にあること、SiC加工事業は今後の需要急増への対応のため、本投資によりそれぞれ2024年度比**126%、632%**の生産能力へ拡大し、取引先の増産要請に応える
- ・ 現状小規模ラインのSiC加工事業には、需要の高まりや取引先の要請があり、量産体制を構築する
- ・ 以下2つの観点から労働生産性の大幅な向上を見込む
 - 最新鋭の省力化自動設備の導入により、2030年度は2027年度比**売上75%増に対して人員は3%の増員**に留まる
 - 事業拡大による利益は賃上げの原資とし、補助事業実施後は**賃上げ7%**を実施する

補助対象事業



シリコンウェハー再生
サービス【主要事業】



SiC加工サービス
(再生 & 受託)



目標値

項目	2027年度 (基準年度)	2030年度 (基準年度 + 3年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	1,957万円/人	4,384万円 (年平均上昇率 + 30.8%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	588万円/人	721万円/人 (年平均上昇率 + 7.0%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率 + 8.4%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	318人	328人